

法藏館書店ニュース 4月

目次

話題の本	P1	特集1:日蓮	P16~17
法藏館新刊案内	P2~5	特集2:4月10日発表! 2024年本屋大賞	P18
法藏館重版案内	P5~6	お知らせ	P19
法藏館刊行予定案内	P6~7	法藏館書店ベスト10・	
法藏館書店のおすすめ本	P8~15	メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 4、5月の書店休業日

4月のお休み: 7日・14日・21日・28日

5月のお休み: 3日~6日・12日・19日・26日

『法藏館図書目録』

2024年版ができました!

ご入用の方は
お申しつけください。

話題の本

●月刊住職 3月号(2024/3/10)

【心に響く3分間法話】『やさしい仏教の話』

桜井俊彦著・四六判・96頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8979-9

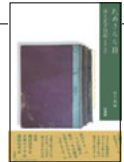


●京都新聞(2024/3/4)・●山形・中国新聞[朝刊](2024/2/25)

●神戸新聞[朝刊](2024/2/24)●中部経済新聞(2024/2/17)ほか各地方紙掲載!

『ためさるる日ー井上正子日記1918ー1922』

井上正子著・井上 迅編・四六判・464頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-7759-8



●中外日報(2024/2/16)

『古墳と壁画の考古学ーキトラ・高松塚古墳』

泉 武・長谷川透著・四六判・234頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7769-7



●藝能史研究 243号(2024/1/末)

『祇園祭千五十年記念 中近世祇園社の研究』

下坂 守著・A5判・782頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6266-2



●月刊住職 1月号(2024/1/10)

『親鸞聖人出家得度時の無常詠歌の謎』

中路孝信著・四六判・138頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-8783-2

◆新装版 親鸞のコスモロジー

【仏教／真宗】

大峯 顯 著・四六判・232頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-6700-1

念仏とは宇宙の法則に従うことである。概念化された言葉の殻をラディカルに打ち破り、親鸞浄土教のダイナミックな世界観を描き出す。

■目次

- I 生死を超えて—ほんとうの救いとは—
生死を超える自然の道
人間の願いと仏の願い
親鸞のコスモロジー
- II 名号の宇宙—親鸞の念仏とは何か— ほか



◆新発見 書簡で読み解く 軍医森鷗外

【日本文学】

石川 肇・林 正子・松田利彦編・A5判・284頁・2,750円
ISBN: 978-4-8318-6285-3

鷗外没後100年の大発見。明治36年～大正7年、陸軍軍医総監・陸軍省医務局長時代の書簡29通を翻刻。鷗外「豊熟の時代」のもう一面とは。関係作品収載。

■目次

- はじめに—軍医森鷗外の小説を味わう(石川 肇)
- 第I部 軍医・森鷗外を知るために
- 第II部 新発見 森鷗外の書簡
—翻刻・読み下し・現代語訳—
- 第III部 「軍医」をキーワードに味わう森鷗外の小説 ほか



◆天王寺舞楽

【仏教／芸術】

小野真龍著・四六判・288頁・2,640円・ISBN: 978-4-8318-6286-0

大阪・四天王寺に伝承される「もう一つの、ほんとうの雅楽」(東儀俊美)。聖徳太子の願いのこもった菩薩道としての舞楽の歴史をひもとく。

■目次

- 序 東儀俊美先生の手紙
- 第一章 「天王寺楽人」の原像
- 第二章 『聖徳太子傳記』における天王寺楽人
—中世神話の天王寺楽人像—
- 第三章 天王寺楽人の祖先神「秦河勝」とは何者か
- 第四章 躍動する中世天王寺楽人
- 第五章 三方楽所体制下の天王寺楽人 ほか



◆よもやま歴史風土記

【日本史】

——琵琶湖水系三都と諸国の「問故知新」

本郷真紹著・四六判・208頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6282-2

近江・山城・摂津と周辺諸地域に伝わる歴史に関する逸話を、古代史のプロが平易に紹介。歴史を学ぶ醍醐味を伝える60篇の四方山話。

■目次

はじめに

- I 近江の風土記
 - II 山城の風土記
 - III 摂津の風土記
 - IV 三都近隣諸国の風土記
 - V 三都ゆかりの地域の風土記
- おわりに

ためし読み



◆清水寺 成就院日記 第八巻

【日本史／仏教】

清水寺史編纂委員会編・A5判・416頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5158-1

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用日記。第八巻は明和元年（一七六四）～明和七年（一七七〇）を収録。

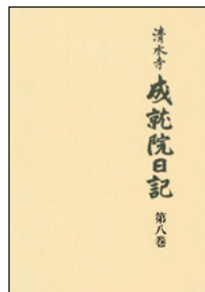
■目次

凡例

- 五十五 成就院日記 明和元年七月～十二月
- 五十六 成就院日記 明和二年正月～七月
- 五十七 成就院日記 明和三年正月～六月
- 五十八―一 成就院日記 明和五年正月～六月
- 五十八―二 成就院日記 明和五年七月～十二月

ほか

ためし読み



◆曇鸞『浄土論註』の新研究

【真宗学】

——真宗理解の再構築のために

市野智行編・A5判・326頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7781-9

親鸞が真宗の大綱として掲げる二種回向。その源泉である『浄土論註』を読み直し、真宗理解の再構築を目指す、挑戦的新研究。

■目次

序言 [市野智行]

還相回向研究史 [市野智行]

「回向」の成立背景と「普賢行」への深化 [織田顕祐]

普賢行と曇鸞の往還回向 [織田顕祐]

仏典「解釈」とその可能性 [黒田浩明]

『浄土論註』の日本的展開 [藤村 潔]

ほか

ためし読み



◆九州真宗の社会と文化 【日本史／真宗】

中川正法・小林知美・岡村喜史編・A5判・640頁・7,700円
ISBN:978-4-8318-7928-8

地域における教化伝道の拠点であり、地域文化財の収集・保存や地域社会の課題に取り組んできた北部九州寺院の歩みと幕末・明治期の活動を、新出史料等から解明する。

■目次

□絵

・総論(中川正法)

第一部 北部九州の真宗

第二部 博多萬行寺—歴史と文化財

第三部 史料の活用と翻刻 ほか

ためし読み



◆石山寺蔵 靖邁撰『仏地経論疏』巻一の翻刻と訓読 【仏教学】

【龍谷大学仏教文化研究叢書50】

長谷川岳史・小野嶋祥雄・村上明也・吉田慈順編・B5判・216頁
3,850円・ISBN:978-4-8318-7779-6

石山寺に所蔵される靖邁『仏地経論疏』。現存する巻一・二・六のうち、解題・訓読・補注・影印・翻刻から巻一の全貌を解き明かす。

■目次

序 辞

凡 例

石山寺蔵 靖邁撰『仏地経論疏』解題

訓読篇

影印・翻刻篇

ためし読み



◆『大乘莊嚴經論』第Ⅲ章の和訳と注解 【仏教学】

——菩薩の種姓

【龍谷大学仏教文化研究叢書49】

早島 慧編・B5判・392頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7780-2

初期瑜伽行唯識学派の最重要文献『大乘莊嚴經論』。第Ⅲ章『種姓品』の諸本対校の梵・藏テキストを提供、精確な現代語訳を提示する。

■目次

『大乘莊嚴經論』第Ⅲ章の梵文校訂

テキストおよび和訳・注解

『大乘莊嚴經論』第Ⅲ章・世親釈チベット訳テキスト

『大乘莊嚴經論』第Ⅲ章・無性釈チベット訳

テキストおよび和訳・注解

『大乘莊嚴經論』第Ⅲ章・安慧釈チベット訳

テキストおよび和訳・注解 ほか

ためし読み



とくさ

◆木賊

【仏教／絵本】

望月文子・文・熊谷 博人・絵・B5判・32頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-5653-1

謡曲「木賊」を翻案した絵本。信濃国園原（長野県阿智村）で、行方不明となった我が子を待ち続ける老父。やがて僧侶となった我が子が旅の僧とともに木賊を斬る老父と再会する。京都・祇園祭の山鉾「木賊山」の題材。

ためし読み



◆豹軒詩遺稿

【漢詩／漢字学】

鈴木虎雄著・A5判・528頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-3735-6

中国文学研究の大家であり、優れた漢詩人でもあった鈴木虎雄が晩年に詠じた漢詩集。近代漢詩人研究としても貴重な資料。

■目次

西遊詩草

甲午稿 昭和二十九年 七十七歳

乙未稿 昭和三十年 七十八歳

丙申稿 昭和三十一年 七十九歳

丁酉稿 昭和三十二年 八十歳

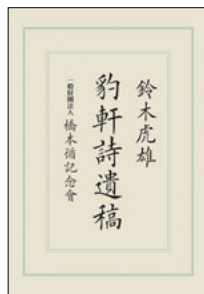
戊戌稿 昭和三十三年 八十一歳

己亥稿 昭和三十四年 八十二歳

庚子稿 昭和三十五年 八十三歳

帰郷雑詠 昭和三十六年 八十四歳 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆増補 いざなぎ流 祭文と儀礼

法蔵館文庫

【宗教】

2刷

斎藤英喜著・文庫判・518頁・1,650円
ISBN:978-4-8318-2601-5

高知県旧物部村の民間信仰「いざなぎ流」。祭文・法文・神楽・式王子の儀礼現場を解明し、陰陽道・民俗信仰研究に新視点を拓いた名著。最新の研究動向を増補。

■目次

第一章 「山の神の祭文」の世界——山の中は山へ、川の中は川へ

第二章 巫神祭祀考——修行する死者霊たち

第三章 神楽・祭文・呪術——「御崎様の祭文」と式王子

第四章 「呪詛の祭文」と取り分け儀礼——「法者」の世界へ

第五章 表のなかに裏あり——「天神の祭文」と天神法 ほか



◆仏性とは何か

法蔵館文庫

【仏教】

2刷

高崎直道著、下田正弘解説・文庫判・320頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2602-2

はたして全ての人に仏になれる本性が具わっているのか。
日本仏教に根本的な影響を及ぼした仏性思想を明快に解
き明かす名著。

■目次

- | | | |
|----------|----------|----|
| I | II | |
| 如来蔵と仏性 | 如来の出現 | |
| 仏性の話 | 宝性論入門 | |
| 一切衆生悉有仏性 | III | |
| 如来と如来蔵 | 如来蔵思想と密教 | ほか |



◆王法と仏法——中世史の構図

法蔵館文庫

【日本中世史】

2刷

黒田俊雄著、平 雅行解説・文庫判・322頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2607-7

強靱な論理力と斬新な学説で、「武士中心史観」に基づく
中世理解に鋭く修正を迫った黒田史学。その精髓を示す
論考を収めた不朽の名著。

■目次

- | | | |
|----------------|-------------|----|
| I | 日本宗教史上の「神道」 | |
| 顕密体制論の立場 | II | |
| 一中世思想史研究の一視点 | 「院政期」の表象 | |
| 王法と仏法 | 軍記物語と武士団 | |
| 愚管抄における政治と歴史認識 | 太平記の人間形象 | ほか |



法蔵館刊行予定案内

〈2024年5月 刊行予定〉

◆日本の神社と「神道」

法蔵館文庫

【日本史／宗教】

井上寛司著・文庫判・496頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2664-0

神社と神社祭祀・神祇信仰の問題を「神道」との関わりに焦点を当てて、古代から現代まで
をトータルなかたちで再検討する画期的論考。

◆来迎芸術

法蔵館文庫

【美術史／仏教】

大串純夫著、須藤弘敏解説・文庫判・230頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2665-7

阿弥陀来迎図や六道図等の美と信仰のあり方を、浄土教美術に影響を与えた『往生要
集』の思想や迎講・仏名会等の宗教行事から考証。

◆仏教文化の原郷——インドからガンダーラまで 法蔵館文庫

西川幸治著・文庫判・352頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2666-4

【歴史／考古学】

近代以降、埋もれた聖跡を求めて数多行われた学術探検隊による調査の歴史をたどりつつ、仏教聖地の往事の繁栄の姿をたずねる。

◆マンダラの新しい見方

森 雅秀著・A5判・264頁・3,960円・ISBN:978-4-8318-6352-2

【美術史／仏教】

「何がマンダラか」という視点に立ち、マンダラの発生、日本で展開した浄土教曼荼羅や参詣曼荼羅等のあり方、思想を探索し、マンダラの意義を再考する。

◆超越のささやき——「こころ」を取り戻すための宗教六講

八木誠一著・四六判・160頁・予1,760円・ISBN:978-4-8318-1062-5

【宗教哲学】

超越とは何か。超越のはたらきに接するにはどうしたらよいのか。言語による拘束と情報化によって現代人が見失った「真実と平和を求めるこころ」を取り戻すための最新講義。

◆日本古代の国家・王権と宗教

【日本史／古代】

本郷真紹監修、山本 崇・毛利憲一編・A5判・700頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6281-5

日本古代の王権や政治社会、仏教、神祇信仰にまつわる諸相について、実証的に論じた27本の学術論文を収録。日本古代史・日本古代宗教史研究者必備の一大論集。

◆八坂神社日記

万覚日記2(安永七年～天明三年)

【日本史／史料】

八坂神社文書編纂委員会編・A5判・予300頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5302-8

祇園社において神楽所座・神楽所中間を務めた狛家の日記『万覚日記』。本巻では第十冊から第十五冊(明和七年(1770)正月～天明三年(1783)十二月)の翻刻を収録。

◆都市祭礼と中世京都——表象と実像

河内将芳著・A5判・予360頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-6287-7

【日本史／中世】

中世都市京都にとって祇園会などの祭礼はいかなる意味をもつのか。文献史料に記された祭礼と絵画史料に描かれた祭礼の双方を読み解き、互いの異同にも注目しつつ考察。

◆親鸞聖人を讃えることば

——和讃もどきとその随縁

佐藤賢昭著・四六判・予168頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8803-7

【仏教／真宗】

著者のご旧跡参拝や当時の思い出などを織り交ぜながら、七五調で親鸞聖人を讃えることば90篇をまとめた、和讃でもなく回想文でもない新しいかたちの短篇法話集。

法蔵館書店のおすすめ本

◆中国天台宗の戒律観の研究

——明曠『天台菩薩戒疏』を中心に

大津健一著・A5判・1072頁・14,850円〈公益財団法人東洋哲学研究所〉

本書は、智顗・灌頂・湛然ら中国天台宗諸師の戒律観を明らかにした上で、湛然の弟子である明曠が『梵網經』を注釈した『天台菩薩戒疏』(明曠疏)を検討し、その特徴および後世への影響を考察するものである。

■目次

- 第一部 中国における戒律の受容と解釈
- 第二部 智顗・灌頂・湛然の戒律観
- 第三部 明曠『天台菩薩戒疏』の研究



◆蔵文和訳 大乘アングリマラ經

加納和雄訳・A5判・506頁・12,100円〈起心書房〉

初期仏典に説かれる「改心した悪人」アングリマラの物語を、大乘仏教の立場から大胆に読み替え、衆生が成仏できる可能性=如来蔵をドラマティックに説く經典を、チベット訳から全訳。解題では本經への最新の研究成果を詳述しつつ、仏教内外を含めた「インド世界における本經の位置」を問い直し、如来蔵思想研究に新たな展望を開く。

■目次

- 第1章 書誌と内容概観
- 第2章 物語のモチーフをたずねて
- 第3章 物語の「種明かし」
- 第4章 如来蔵思想 ほか



◆普賢行と浄土思想

中御門敬教著・A5判・781頁・17,820円〈起心書房〉

彪大・絢爛たる『華嚴經』の掉尾を飾る『普賢行願讃』。そこに説かれる大乘菩薩の広大な誓願を、初期大乘の先駆經典と、インド・チベットの諸注より解明し、「浄土の菩薩の利他行」への展開を探る。『普賢行願讃』以下、二つの先駆經典、陳那(ディグナーガ)、釈友(シャーキャミトラ)、智軍(イエシェデ)の三注の全訳を収録した、貴重な成果。

■目次

- 第1部 インド篇
 - 第1章 大乘戒經に見る発心儀礼
 - 第2章 『文殊師利仏土嚴浄經』に見る誓願
 - 第3章 『華嚴經』に見る普賢行 ほか



◆釈迦牟尼仏陀伝——初転法輪への道

富尾武弘著・B5判・177頁・3,850円〈永田文昌堂〉

『方広大莊嚴經』に基づき、仏陀の伝記であるボロボドゥール寺院の百二十面全ての浮彫パネルを、釈迦伝の全容を示すものとして解説する。釈尊の成長に合わせ、種々な体験等を経て、大乘仏教成立に至る過程、「初転法輪」迄を解説する。

■目次

- はじめに
- 第二章 兜率天宮品
- 第三章 清浄種族品
- 第四章 法明門品
- 第五章 出立品 ほか



シリーズ思想としてのインド仏教

◆心と実存 唯識

高橋晃一著・四六判・283頁・2,640円〈春秋社〉

なぜ言語表現し得ないはずの事物に名称が付与されるのか。分別と事物の関係に焦点を当て、「菩薩地」から「瑜伽師地論」「解深密経」「中辺分別論」「摂大乘論」「唯識三十頌」への展開を読み解く。

■目次

- 第一章 『菩薩地』『真実義品』一言語表現し得ない事物 (vastu) —
- 第二章 『瑜伽師地論』『摂決択分』(一) — 五事説 —
- 第三章 『瑜伽師地論』『摂決択分』(二) — 三性説 —
- 第四章 『般若経』『弥勒請問章』の思想 — 五事説と三性説の接点 —
- 第五章 『解深密経』 — 事物 (vastu)、三相説、アーラヤ識、唯識 — ほか



講談社学術文庫 2806

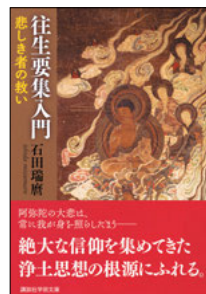
◆往生要集入門——悲しき者の救い

石田瑞麿著・文庫判・254頁・1,210円〈講談社〉

『往生要集』の訳・校注で知られる著者が、歴史的背景に始まりゆるやかに『往生要集』の構成に沿いつつ、親しみやすい現代語訳を随所に示しながら、源信の教えの真髄を平易に解き明かす。

■目次

- 第一章 『往生要集』の成立
- 第二章 迷いの世界
- 第三章 浄土へのねがい
- 第四章 正しい念仏
- 第五章 悲しき者の救い



◆『大無量寿経』 読本1

北塔光昇著・新書判・142頁・1,320円〈永田文昌堂〉

『大無量寿経』を初めて学ぶ方々にも、話し言葉で簡易に読める解説書。読みやすい分量に数回にわけて、『大無量寿経』を味わう。今回の読本一は、『大無量寿経』を読み進めるに当たって必要な基礎的知識を中心にまとめる。

■目次

- 一 仏説について
- 二 浄土真宗
- 三 迷いの世界から悟りの世界へ
- 四 天台宗と『大無量寿経』



◆立教開宗と浄土真宗

四夷法顕著・B6判・32頁・220円〈自照社〉

2024年、親鸞聖人が『教行信証』を撰述されてから800年を迎え、あらためて真宗における立教開宗の意義と、「浄土真宗」という宗名に込められた意味をうかがう。お施本にも最適。

■目次

- 親鸞聖人に立教開宗の意図はなかった!?
- 立教開宗の年「元仁元年」について
- 『教行信証』撰述の背景と時代観
- 「浄土真宗」という教え(その1)
- 「浄土真宗」という教え(その2)
- 教団名としての「浄土真宗」



帰京後の親鸞—明日にともしびを9

◆八十二歳の親鸞——善鸞異義事件

今井雅晴著・B6判・87頁・1,100円〈自照社〉

親鸞聖人の晩年30年を検証するシリーズ《全15冊》の第9冊。息子・善鸞の異義(異なる教えを説くこと)に聖人はどう向き合ったのか。義絶をめぐる書状5通を読み解き、その実相に迫る。

■目次

- 1 善鸞異義事件研究の視点
- 2 親鸞八十二歳までの善鸞
- 3 善鸞の息子如信
- 4 建長五年・六年の関東(親鸞八十一歳・八十二歳)
- 5 善鸞異義事件に関する史料検討



◆知れば知るほどおもしろい！ やさしくわかる仏教の教科書

石田一裕監修・A5判・223頁・1,760円〈ナツメ社〉

一步踏み込めば心がラクになる！ 仏教をはじめたお釈迦様の生涯から、教えの基本、それぞれの宗派、仏像・寺院の見方までイラストで解説し、仏教2500年以上の歴史のなかで起きた重要な出来事をたどる。

■目次

- 1 お釈迦様のライフストーリーで読み解く 仏教の誕生
- 2 みんなの迷い、苦しみを仏教で解決 教えの基本
- 3 生きとし生けるものを残らず救いたい！ 仏教伝播と大乘の教え
- 4 日本人の精神文化を変えた 日本仏教
- 5 ブッダの世界をこの世に再現 仏像・寺院のしくみ



PHP文庫 な77-1

◆教養として知っておきたい宗教学

中村圭志著・文庫判・251頁・913円〈PHP研究所〉

人類文化の「原点」を占めている宗教を、個人の内心の問題としての「信仰」からいったん離れて、文化的・社会的・思想的な「知識」として理解する——。それを行なうのが本書のテーマ「宗教学」である。

■目次

- 1 宗教と宗教学(宗教と宗教学—信仰と学問の立場の違いをはっきりさせました。) ほか
- 2 世界の宗教(八つの宗教—世界の大宗教は中東、インド、東アジアに生まれました。) ほか
- 3 宗教学から見てくること(アニミズム—宗教の基層には靈魂の信仰があると言われています。) ほか



◆[図解]神社としきたりがよくわかる本

茂木貞純監修・A5判・191頁・1,650円〈リベラル社〉

お正月の初詣や七五三、雛祭りなど、日本の年中行事には神道に由来するものが多くあります。身近なしきたりと作法を図解で詳しく紹介した一冊です。

■目次

- 序章 神道を知る
- 第1章 神道の歴史と民間信仰
- 第2章 日常生活に根づいている神道としきたり
- 第3章 神社の基礎知識
- 第4章 参拝の基礎知識 ほか



◆現代「神道」講座——寛容と共生のこころ

藤本頼生著・四六判・256頁・1,980円〈佼成出版社〉

神道が育む共生の智慧、神社が果たしている役割——。日本神話にはじまり、森や動物、地名、建築、疫病、相撲、天気など幅広いジャンルと神道とのかかわりを取り上げ、その「多面性」を明確にする。本書は、気鋭の神道学者による幅広い視野から書き進められた一般向け教養書といえよう。

■目次

- 第一章 日本神話が伝える豊かな世界観
- 第二章 日々、神々を祀り、神を丁重に敬う
- 第三章 神道を暮らしに活かす
- 第四章 人々の暮らしと神社
- 第五章 少子高齢化の進行と過疎化 ほか



ちくま学芸文庫 ム13-1

◆本地垂迹

村山修一著・文庫判・448頁・1,760円〈筑摩書房〉

神仏両者の信仰を融合せしめた日本独特の理論で、日本の歴史を通じ政治・文学・芸術など国民生活の様々な分野にとけこみ、日本文化形成の基盤となった本地垂迹。日本文化の基盤へと広く深く根を張る世界観を総合的に読み解く。

■目次

- 一 大陸における本地垂迹説の起源と仏教の習合的發展
- 二 仏教の日本伝来初期における歴史的情勢
- 三 律令国家完成期に至る神仏両思想と陰陽道の関係
- 四 奈良朝における神仏習合の進展
- 五 八幡神の習合的成長 ほか



◆清水寺のみほとけ 参拝ガイド[英訳付き]

清水寺監修、根立研介著・B5変判・104頁・2,200円〈東京美術〉

古来観音霊場として栄えた清水寺は、実は優れた古仏や美仏の宝庫。「舞台」や「滝」が有名なあまり、従来注目されることが少なかった仏像を伽藍ごとに英訳付きで紹介。ご利益や堂塔の来歴などもわかる見どころ満載ガイド。

■目次

- 1 (本堂のみほとけ／本尊千手観音立像 ほか)
- 2 (仁王門のみほとけ／慈心院随求堂のみほとけ ほか)
- 3 (釈迦堂のみほとけ／阿弥陀堂のみほとけ ほか)
- 4 (地蔵院善光寺堂のみほとけ／真福寺大日堂と大講堂宝蔵殿のみほとけ ほか)



新・興福寺仏教文化講座10

◆『般若心経幽賛』を読む——唯識の修行

吉村 誠著・四六判・334頁・2,970円〈春秋社〉

空思想を代表する『般若心経』を唯識思想の立場から慈恩大師が註釈した奇跡のコラボ。瑜伽行派の非有非空中道の立場から、修行の重要性を強調する、法相宗の立場が鮮明に現れた書を解説。

■目次

I 『般若心経』と『般若心経幽賛』

II 『般若心経』を読む

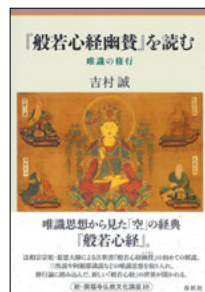
III 『般若心経幽賛』を読む

序章 般若とは何か

第一章 唯識の行

第二章 唯識の空

第三章 唯識の悟り ほか



◆弘法大師 空海百話Ⅱ (新装版)

佐伯泉澄著・新書判・220頁・1,320円〈東方出版〉

「十卷章」「性霊集」「十住心論」等から空海の名言百を選び、簡潔、平易に解説。弘法大師空海が示された、真言密教の哲理を平明に説く。

■目次

第一章 お大師様の人生の一端

第二章 密教は自身仏を拝む

第三章 密教は多元即一元の世界

第四章 密教は果位の教え

第五章 密教は色心不二の哲理を説く ほか



◆龍谷大学真宗学一〇〇年史

龍谷大学真宗学会編・B6判・480頁・3,080円〈永田文昌堂〉

第一部では、真宗学百年の歩みを歴史的に俯瞰し、画期となったいくつかのトピックについて、現在の真宗学の教員が分担するかたちで補論的に論述する。第二部では、現役および退職した教員が、現在の研究関心について、また在職当時の真宗学会の活動について論述する。

■目次

第一部 龍谷大学真宗学の歴史

第二部 真宗学研究の歩み



◆精神の考古学

中沢新一著・四六判・430頁・2,970円(新潮社)

若き人類学者・中沢新一は秘教の地へと向かう。恩師ケッセン先生から得た知恵は、やがて独自の思想の構築へとつながり、「精神そのもの」へと導いていく——人生を賭けた冒険の書。

■目次

- 第一部 ゾクチェンを探して
- 第二部 ゾクチェンとの出会い
- 第三部 精神のアフリカの段階を開く
- 第四部 ゾクチェンの扉が開く
- 第五部 跳躍トゥガル ほか



◆いのちのそばで——野の花診療所からの最終便

徳永 進著・四六判・264頁・1,870円(朝日新聞出版)

鳥取にある「野の花診療所」は19床の小さなホスピスで、始まってから23年が経とうとしている。ここでは今日も誰かがこの世を去っていく。死はつらく、悲しい現場ではあるけれど、必ずどこかに人間の持つ温かみやユーモアがある。死に向かう人々の健闘を伝えたい——「野の花診療所」の院長である医師が、患者さんとその家族の姿をうつしだした、おそらくこれが最後のエッセイ。

■目次

- 1 2019年 さくら(フウケイ;接続詞の患者さん ほか)
- 2 2020年 すみれ(餅つき;お空の星に ほか)
- 3 2021年 ふきのとう(イタズラ;コロナと面会 ほか)
- 4 2022年 はまだいこん(ナッルホイヤ;レトルト食 ほか)
- 5 2023年 そらまめ(正月のハビバースデー;霊場で考えたこと ほか)



◆明解 統一教会問題

櫻井義秀著・四六判・272頁・2,310円(興山舎)

統一教会の研究を始めて35年になる筆者が、統一教会の全容を簡潔に、平明に解説。仏教界はもちろん日本人すべてにかかわる問題なのがよく分かる。

■目次

- 第1部 統一教会とはどのような宗教か
- 第2部 統一教会問題をどのように解決するか
- 第3部 宗教リテラシーこそカルト問題解決の鍵



◆サンガジャパンプラス vol.3 仏教で変わる！

サンガ新社編集部編・A5判・432頁・2,750円〈サンガ新社〉

仏教は、人生の表層から深層にいたるまで、機に応じて影響を与え続けます。そして、それまで当たり前だと思っていた認知のメカニズムを更新し、私たちの生き方に変容をもたらします。本号では、そうして社会の在り方をも変えていく仏教のポテンシャルに焦点を当てていきます。

■目次

◆スペシャルトーク 横田南嶺×藤田一照

◆特集 激動する世界の歩き方 仏教の行動学

◆特別企画 伝説といわれた一処不住の禅僧 村上光照老師 追悼 Zen2.0 2022

◆連載

森竹ひろこ(コマメ)「今ここにある仏教[第1回]——池田久代」 ほか



◆季刊せいてん No.146

浄土真宗本願寺派総合研究所著・B5判・66頁・700円〈本願寺出版社〉

■目次

●特集 「王舎城の悲劇 2 〈阿闍世〉の救い」

●はじめの一步2 幸せってなんだろ

—悪人正機の倫理学—29 藤丸智雄

●聖典セミナー『安心決定鈔』2 満井秀城

●せいてん誌上講演 『教行信証』『信文類』7 内藤知康

●せいてん流「字音」探訪 8 林 龍樹 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 4月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 田中 涙さん(ダンサー)

僕は「地を這う前衛」です。

高みへ上がる階段はいりません。

◎特集 子どもの多様性をまもる

連載

・書いて学ぶ 親鸞のことば 歎異抄……鶴見 晃

・あなたのとなりの僧侶 ほか

◆大乘 4月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言！お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました

「深き夢見し」……前田純代 ほか

新連載

・なるほど仏教ライフ 「諸行無常」……西原祐治

・御文章をいただく……満井秀城

・みのりのエッセイ 「巨人の肩の上に立つ」……深水顕真

特集1

日蓮

法藏館新刊「近現代日本における日蓮信仰」にあわせて関連本をご紹介します。

★近現代日本における日蓮信仰

【立正大学大学院文学研究科研究叢書】

三輪是法著・A5判・548頁・8,250円

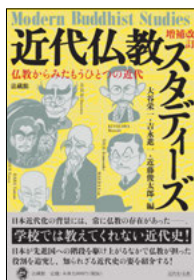
ISBN: 978-4-8318-5583-1

田中智学・高山樗牛・石原莞爾・牧口常三郎・北一輝ら日蓮仏教信仰者の言説から、日蓮の仏教思想と生涯が信仰者たちの心理や行動・思想にいかなる影響を与えたかを考察する。(法藏館)

新刊

ためし読み





◆増補改訂 近代仏教スタディーズ

——仏教からみたもうひとつの近代

大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編・A5判・352頁・2,200円

ISBN: 978-4-8318-5580-0

好評を博した「近代仏教」入門書、待望のアップデート版！
豊富な写真と人脈相關図を駆使し、近代仏教の歴史と魅力をイキイキと描く。
(法藏館)

◆日蓮の女性観

法藏館文庫

植木雅俊著・文庫判・416頁・1,430円・ISBN: 978-4-8318-2648-0

仏教は女性蔑視の宗教なのか？ 仏教史における男性観、女性観の変遷、『法華経』における提婆達多と龍女の即身成仏を通して検証する。
(法藏館)



在庫僅少

◆近代日本の日蓮主義運動

大谷栄一著・A5判・448頁・7,150円・ISBN: 978-4-8318-5626-5

石原莞爾や宮沢賢治が心酔した「日蓮主義」とは。歴史を動かしたその巨大な運動の全貌を初めて解明。(法藏館)

◆戦国仏教と京都

——法華宗・日蓮宗を中心に

河内将芳著・A5判・394頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-6252-5

公武の世俗権力や顕密寺社との関係から、戦国期京都で法華宗(日蓮宗)が辿った変化の軌跡と、「戦国仏教」としての同宗の特質に迫る。
(法蔵館)



◆日蓮と神祇

佐々木馨著・四六判・152頁・1,760円・ISBN:978-4-8318-7471-9

日蓮の構築した「法華経世界」を神祇観の変遷や特質から明らかにし、日蓮の全体像を捉えなおす。
(法蔵館)



◆宮沢賢治の仏教思想

——信仰・理想・家族

牧野 静著・四六判・250頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5581-7

一連の作品群から賢治の仏教思想とそのバックボーンを解明するとともに、近代の中で悩み続ける「人間・宮沢賢治」の本質を抉り出す。
(法蔵館)



◆日蓮主義とはなんだったのか

——近代日本の思想水脈

大谷栄一著・四六変判・668頁・4,070円

高山樗牛、宮沢賢治らの心をとらえ、石原莞爾や血盟団の行動を促した日蓮主義とはいかなるものだったのか?
(講談社)



特集2

4月10日(水)発表! 2024年本屋大賞

全国の書店員によって、今一番売りたい本を選ぶ「本屋大賞」。
法蔵館書店でも、フェアを開催しております。ぜひお越しくださいませ。

ノミネート作一覧

- 『黄色い家』 川上未映子著・2,090円(中央公論新社)
- 『君が手にするはずだった黄金について』 小川 哲著・1,760円(新潮社)
- 『水車小屋のネネ』 津村記久子著・1,980円(毎日新聞出版)
- 『スピノザの診察室』 夏川草介著・1,870円(水鈴社)
- 『存在のすべてを』 塩田武士著・2,090円(朝日新聞出版)
- 『成瀬は天下を取りにいく』 宮島未奈著・1,705円(新潮社)
- 『放課後ミステリクラブ1——金魚の泳ぐプール事件』 知念実希人著・1,210円(ライツ社)
- 『星を編む』 凪良ゆう著・1,760円(講談社)
- 『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子著・1,760円(光文社)
- 『レーエンデ国物語』 多崎 礼著・2,145円(講談社)

法蔵館書店おすすめ!

星を編む



【著者】凪良ゆう
【出版社】講談社
【定価】1,760円

第20回本屋大賞受賞作
『汝、星のごとく』続編。暁海と權のまわりをとりまく人物たちのその後が描かれる。前作で語りきれなかった愛の物語。

成瀬は天下を取りにいく



【著者】宮島未奈
【出版社】新潮社
【定価】1,705円

中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るという。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、きっと誰もが目を離せない!

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

第1回 4月26日(金)「記憶から伝承へ—文化が世界の見方を変える」

〈京都テルサ・東館2階セミナー室(地下鉄烏丸線九条駅4番出口から西へ徒歩5分)〉

天台寺門宗総本山 園城寺長吏 福家俊彦氏

第2回 5月17日(金)「祇園祭と盆行事—風流文化を軸に両者の共通性を考える」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口の階上に直通エレベーター)〉

仏教大学教授 八木 透氏

第3回 9月6日(金)「一隅を照らす—落語家・まるこの仏道修行」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏

第4回 10月4日(金)「仏教の声楽曲「天台声明」の調べ」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏

※受講申し込み・お問い合わせ → 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

招待券プレゼント! 中外日報宗教文化講座へ10名様ご招待

- 応募条件 法藏館書店へ招待券を取りに来られる方。
■応募方法 メール(p@hozokan.co.jp)で表題を「招待券希望」とし、お名前、e-mailアドレスを記しご応募ください。
■締 切 4月12日23時59分到着分まで。※招待券1枚につき全4回ご参加いただけます。
※抽選の上、当選者様にメールにてお知らせいたします。

荷送料変更のお知らせ

(2024年4月1日発送分より荷送料規定を改定させていただきます。)

●荷送料規定 (2024年3月29日発送分まで)

合計価格(税込)	荷送料(税込)
16,500円未満	450円
16,500円以上	無料

●代引規定

手数料(税込)
330円
無料



●荷送料規定 (2024年4月1日発送分より)

合計価格(税込)	荷送料(税込)
16,500円未満	550円
16,500円以上	無料

●代引規定

手数料(税込)
330円
無料

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(3月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	一億三千万人のための『歎異抄』【朝日新書935】	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
4	真宗学講義ノート	田代俊孝講述 児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学田代客員 教授研究室	1,300円
5	浄土論註講義Ⅱ【サンガ聖典シリーズ5】	藤場俊基	サンガ伝道叢書	1,100円
6	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
7	龍谷大学真宗学一〇〇年史	龍谷大学真宗学会編	永田文昌堂	3,080円
8	舍利弗の物語—阿弥陀經の黙った主役	大窪康充	京都月出版	1,100円
9	生誕160年新装版 清沢満之先生のことば 生誕百年 記念出版	大河内了義・ 佐々木蓮磨編	永田文昌堂	1,100円
10	唯信鈔文意【ちくま学芸文庫 シ-45-1】	親鸞著 阿満利磨解説	筑摩書房	1,100円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会
検索





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!